

市民と市政をつなぐ

〈広聴と広報に力を入れています〉



本市が力を入れる広聴と広報や、市長による発信力の強化について、8月号と9月号の2回にわたりお知らせします。

問 秘書広報課広報広聴係
0263 520333



市民の皆さんの声を聴く機会を増やしています

「徹底した対話と現場主義」を市政運営の基本姿勢に掲げる百瀬市長の下、本市では、市内10地区のタウンミーティングを2年連続で開催してきました。

令和4年度のタウンミーティングには、延べ599人の皆さんが参加。5年度には、第六次塩尻市総合計画の「目指す都市像」や、都市計画マスタープランの地区別構想についてのタウンミーティングを行い、延べ344人の皆さんにご参加いただきました。

参加された皆さんの意見を踏まえ、5年度は塩尻児童館の改修、病後児保育施設のオープン、奨学金返還支援補助制度の新設、地域おこし協力隊を活用した漆器産業の後継者確保や空き家・空き店舗対策などに市民の声を反映させてきました。

6年度には、第2子以降の保育料などの無償化、タブレット端末を活用した相談アプリの導入、保育園や児童館の遊戯室のエアコン設置の前倒し、ファミリーサポート事業や出



市民の声を受けて6年度から拡充した、支所や保育園での出張デイ保育

張デイ保育に市民の声を反映。道路や排水路、公園遊具の更新など、皆さんの暮らしに関わる要望にも素早く対応しています。

今後も引き続き、市民の皆さんから忌憚ない多くのご意見とご要望をいただき、その声を諸施策に反映させるべく取り組んでいきます。

広く市政の情報を届けるため、発信力も強化しています

5年度から新たに始めた「どこでも市長室」については、6年度から会議録をイラスト入りで公開し、より多くの皆さんに市長がどんな話を

塩尻市長記者会見

グラレコ

2024/5/29の記者会見を、グラフィックレコードでお伝えします。

市HPにうごくスライドの広報コーナーが誕生！

こども相談アプリ導入

小さなSOSにいち早く気付くため、全小中学校に順次導入します。↓気分・体調のチェックや匿名のチャット相談ができます。

木曾漆器祭・奈良井宿場祭

6/8・9(土)(日)「木曾漆器・大漆器市」「お茶壺道中」など、地域を挙げての催しです。皆様のお出かけをお待ちしています。

クーリングシェルター指定

県内の観測地点すべてで暑さ指数が基準に達すると「熱中症特別警戒アラート」が発令。その場合は、えんぱー&えんてらす(クーリングシェルター)等で過ごしましょう。

塩尻版リビングウィル

塩尻医師会・塩尻市版のリビングウィル(事前指示書)を新たに作成！もしもの時のために、ご家族や親しい人と「人生会議」を開きましょう！

イラストでつなぐ

市長の定例記者会見の動画について、就任直後から字幕を付け、より伝わるものに改良。6年度からは、手話通訳を付けた動画の公開や、左図のとおりイラストでも発信しています。



◀詳細はこちらをご覧ください。

どこでも市長室で対話

5年度から始めた「どこでも市長室」。農業や介護、防犯、不登校など、多くの声に耳を傾けてきました。

6年度からは、会議録を右図のとおり分かりやすく編集し、公開を始めました。



◀詳細はこちらをご覧ください。

どこでも市長室 一枚でわかる会議録

塩尻市長による「どこでも市長室」について、概要をお伝えします。

地域共生社会の実現のために、必要なサービスだと思います。無償ボランティアということで、法令の壁もありますが、実費の解釈の範囲で見直せることはあるかもしれません。

この制度が始まってもう28年。人口構造は変わり、少子高齢化は進んでいます。皆さんの意見を聞きながら、市としてもいい方向にしていきたいと思っています。研修など皆さんが集まる機会も増やしていければ。

- 参加者の主な意見
- ・ドライバーの都合と利用者さんのニーズがなかなか一致しない課題がある。
 - ・利用者数は増えているが、ドライバーの数は増えていかない。実数は10人ほど。
 - ・ドライバーの年齢の課題もある。
 - ・タクシーの制度もあるが、今はなかなか予約ができない。
 - ・すてっぷぐんやのりなどの公共交通機関もあるが、送迎サービスの利用者にはバス停に行くことが難しい場合もある。
 - ・1キロ15円の金額を上げるのも簡単ではない。

2024/4/24 塩尻市保健福祉センター

- ・市には、ドライバーの確保のために支援をしてほしい。
- ・25年以上ドライバーをやっている。どんな仲間が減っている。存続の危機を感じている。
- ・定年退職した人がドライバーをやってくれば助かる。
- ・実費に事務手数料分も加算できない。
- ・ドライバーが送迎した後、待つ場合があるが、その待機時間が長い。
- ・会社組織のようにして、送る人と迎える人が別になれば負担感が少ない。

送迎サービスとは

塩尻市社会福祉協議会が、条件を満たす利用者とドライバーの日時等をマッチングし、ドライバーの車で送迎するサービス。利用者は1キロ当たり15円をドライバーに支払う。

塩尻市長
百瀬 敬

今回のテーマ:送迎サービスの今後を考える

参加団体:塩尻市社会福祉協議会・送迎サービス会協力会員

高校生サマーチャレンジトークを開催

今後の塩尻市について、市長と意見交換しましょう。

■対象 市内に通学・在住している高校生世代

■日時 8月18日(日) 午前10時～11時半

■場所 えんてらす1階101・102会議室

■テーマ 10年後も地域の皆さんが幸せであるために、今できること

■申し込み方法 右のコード(Googleフォーム)でお申し込みください。



■申込締め切り日 8月14日(水)

※希望者には「塩尻市ご当地キャラクターシール」をプレゼント！



市民の皆さんと積極的に対話



したのかを発信する取り組みを始めました。

また、市長の定例記者会見に関心を持ってもらえるよう、動画に字幕や手話通訳を付けるとともに、イラスト主体の会議録をホームページに掲載。これまで情報が十分行き届かなかった皆さんにも市政をより身近に感じてもらえるよう、工夫を重ねています。

